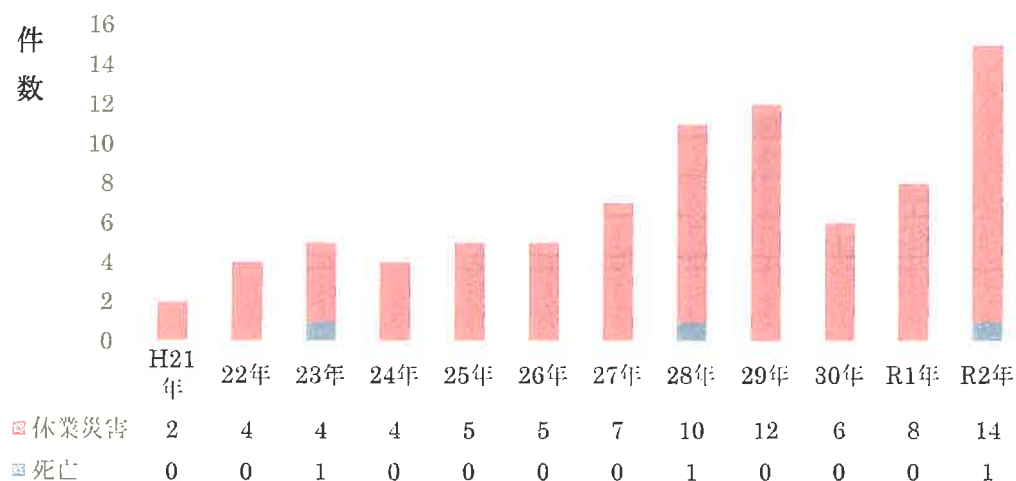


宮崎県内における職場での熱中症による死傷災害の発生状況
(休業4日以上の労働災害)

1 熱中症による年別発生件数の推移(平成21年～令和2年速報値)

職場での熱中症による発生件数は、過去12か年に84件発生しており、平成21年以降増加傾向であったが、平成30年に減少し令和1年に増加に転じた。
なお、平成23年、平成28年と令和2年に死亡災害が発生している。

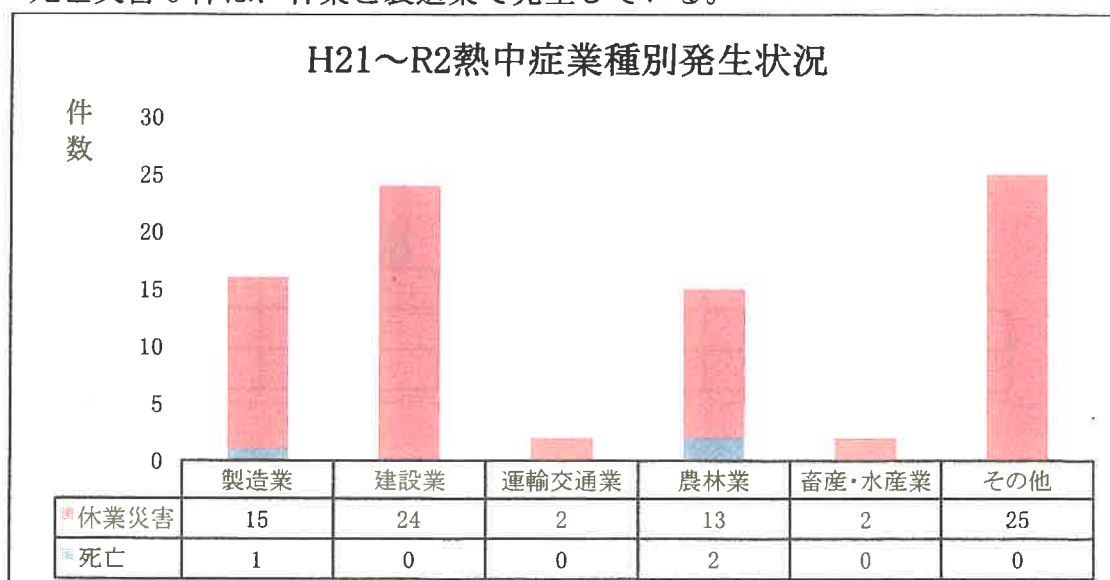
H21～R2年熱中症年別発生状況



2 熱中症による災害の業種別発生状況(平成21～令和2年速報値)

過去12年間(平成21～令和2年速報値)の業種別の熱中症の発生状況を見ると、建設業が24件(28.6%)で最も多く、製造業が16件(19.0%)、農林業が15件(17.9%)で続いており、この3業種で全体の6割強を占めている。
死亡災害3件は、林業と製造業で発生している。

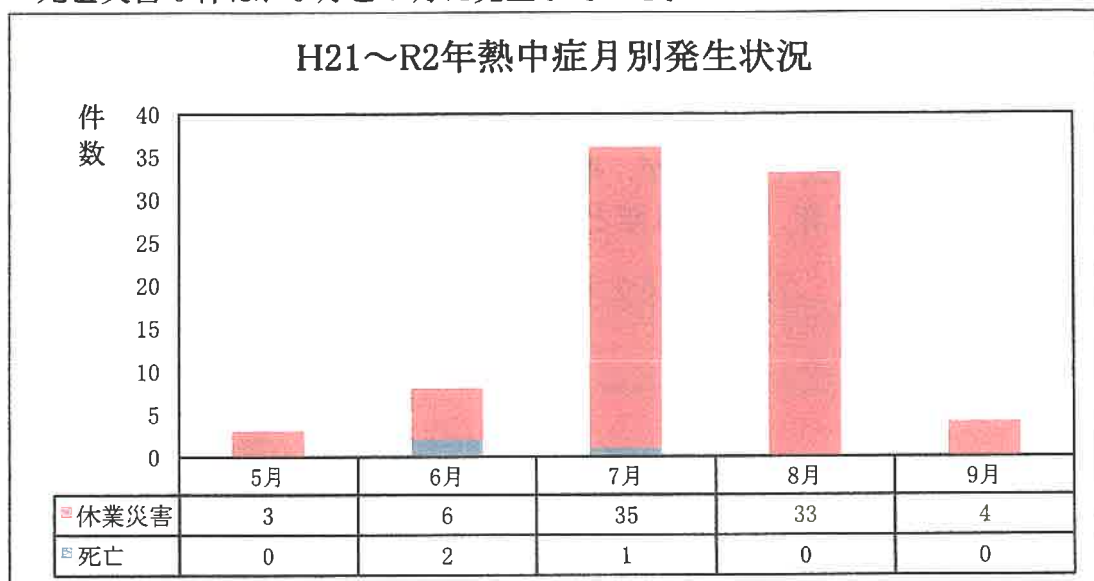
H21～R2熱中症業種別発生状況



3 月別発生状況(平成 21～令和 2 年速報値)

過去 12 年間（平成 21～令和 2 年速報値）の月別発生状況をみると、毎年梅雨明け・盛夏の時期となる 7・8 月に全体の約 8 割（69 件）が発生している。

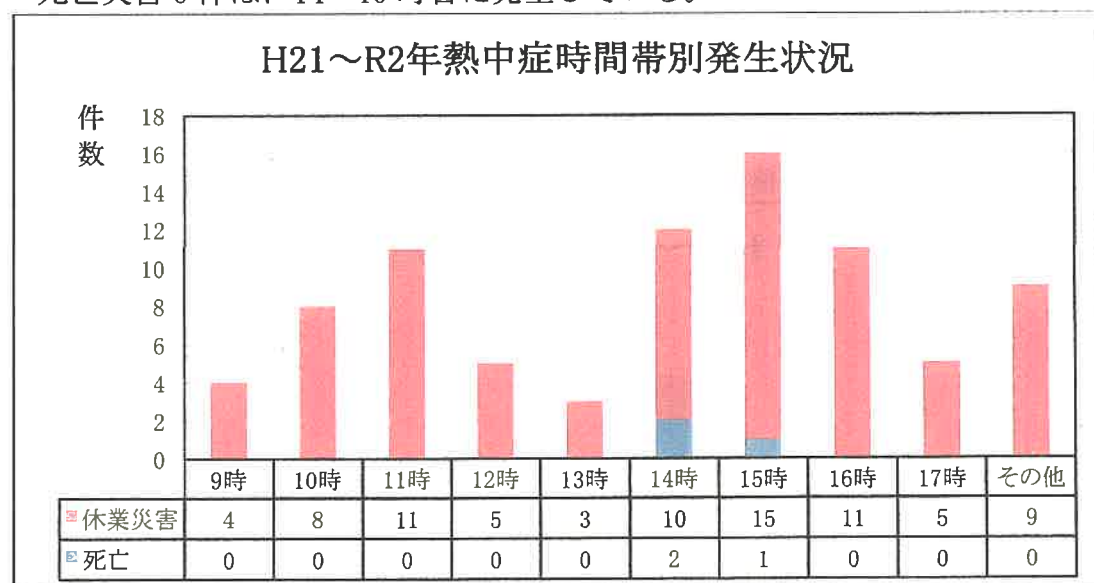
死亡災害 3 件は、6 月と 7 月に発生している。



4 時間帯別発生状況(平成 21～令和 2 年速報値)

過去 12 年間（平成 21～令和 2 年速報値）の時間帯別発生状況をみると、気温が上昇する 10・11 時台、気温が最も高くなる 14 時から 15 時台が多くなっている。なお、休憩時間となる 12・13 時台に発生は少ない。

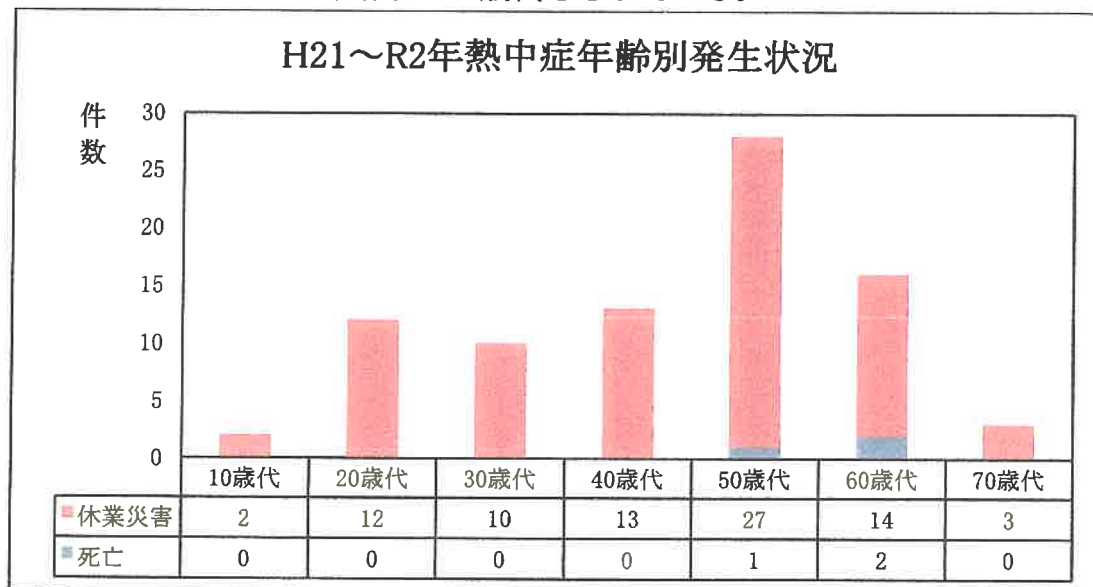
死亡災害 3 件は、14・15 時台に発生している。



5 年齢別発生状況(平成 21～令和 2 年速報値)

過去 12 年間（平成 21～令和 2 年速報値）の年齢別発生状況をみると、50 歳代が 28 件と全体の 33.3%を占めており、次いで 60 歳代、40 歳代、20 歳代、30 歳代が 16 件～10 件となっている。

死亡災害 3 件は、50 歳代と 60 歳代となっている。



※ 統計は労働者死傷病報告（休業 4 日以上）の数値である。